

多様性を有する肝疾患患者さんが抱えている悩みが、どのような環境の元で形成され、どのような因子が関与していたのかを明らかにする為に、下記のような方法で検討した。

6300人アンケート調査から得られた自由記述1412人分のレポートを、まず下記の7つの病態群に分け、さらに病態ごとにテキストマイニングによって4つのリーフに分類する。ひとつのリーフには、悩み【なし】【あり】と、それぞれの2つのグループがあることから、最終的に56群に分類する。

これらの方法により、同じような病状・同じような環境下で生活してきた肝疾患患者の自由記述、肝疾患患者の悩み等がどのように書かれているのか、コンパクトに参照することが可能となる。

7つの病態とは、以下のとおり。

B型軽症群 (CR/CH)

B型重症群 (LC/HCC)

C型軽症群 (CR/CH)

C型重症群 (LC/HCC)

その他疾患 (B型/C型を除く) の軽症群 (CR/CH)

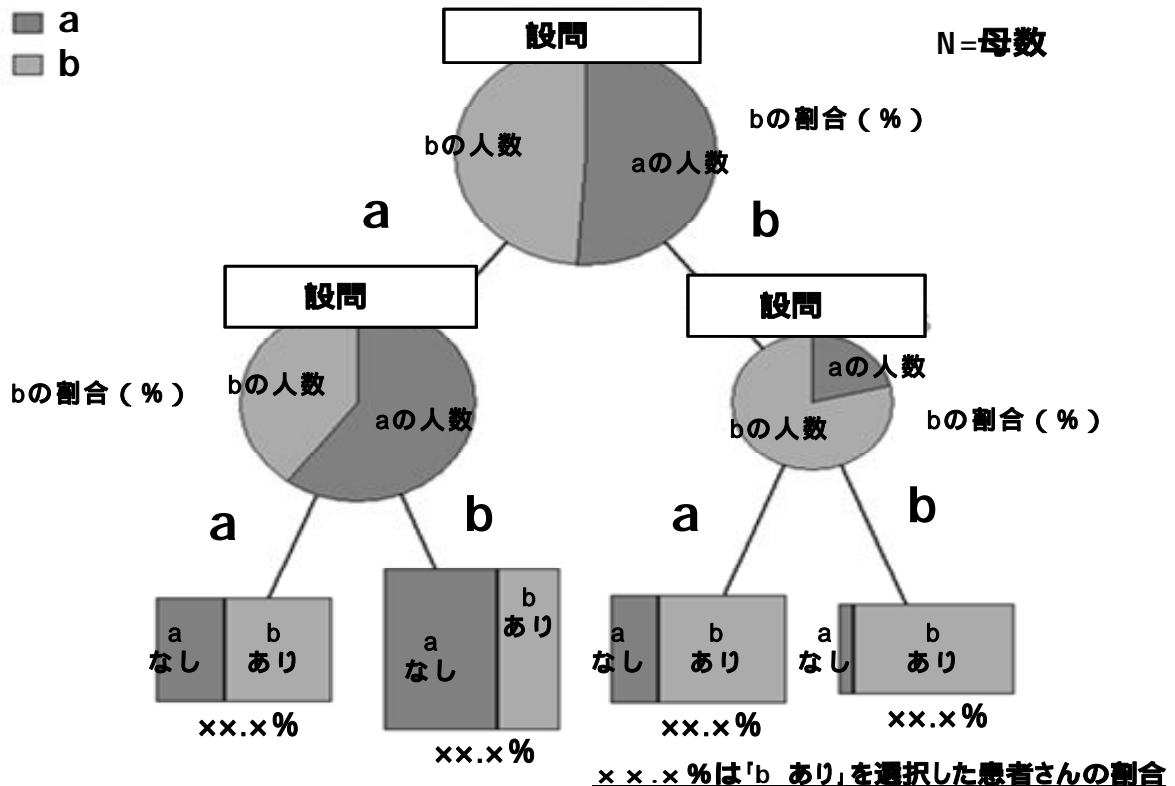
その他疾患 (B型/C型を除く) の重症群 (LC/HCC)

C型・ウィルス駆除群

CR = キャリア、CH = 慢性肝炎、LC = 肝硬変、HCC = 肝癌

データマイニング決定木解析結果の読み方、

データマイニング決定木解析とは、肝疾患患者が各設問（設問Ⅰ-Ⅲ）に対して該当する内容を（a,b）と順次選択、アルゴリズムをたどるようにして4つのリーフの中から1つのリーフを選択する。各リーフの中の（a,b）のいずれかを選択することで、 $-a$ から $-b$ の8つの集団に、どの集団に属しているのかを見極める。



【変数 =a かつ変数 =a で「悩みなし」】と回答している場合・・・ -a

【変数 =a かつ変数 =a で「悩みあり」】と回答している場合・・・ -b

【変数 =a かつ変数 =b で「悩みなし」】と回答している場合・・・ -a

【変数 =a かつ変数 =b で「悩みあり」】と回答している場合・・・ -b

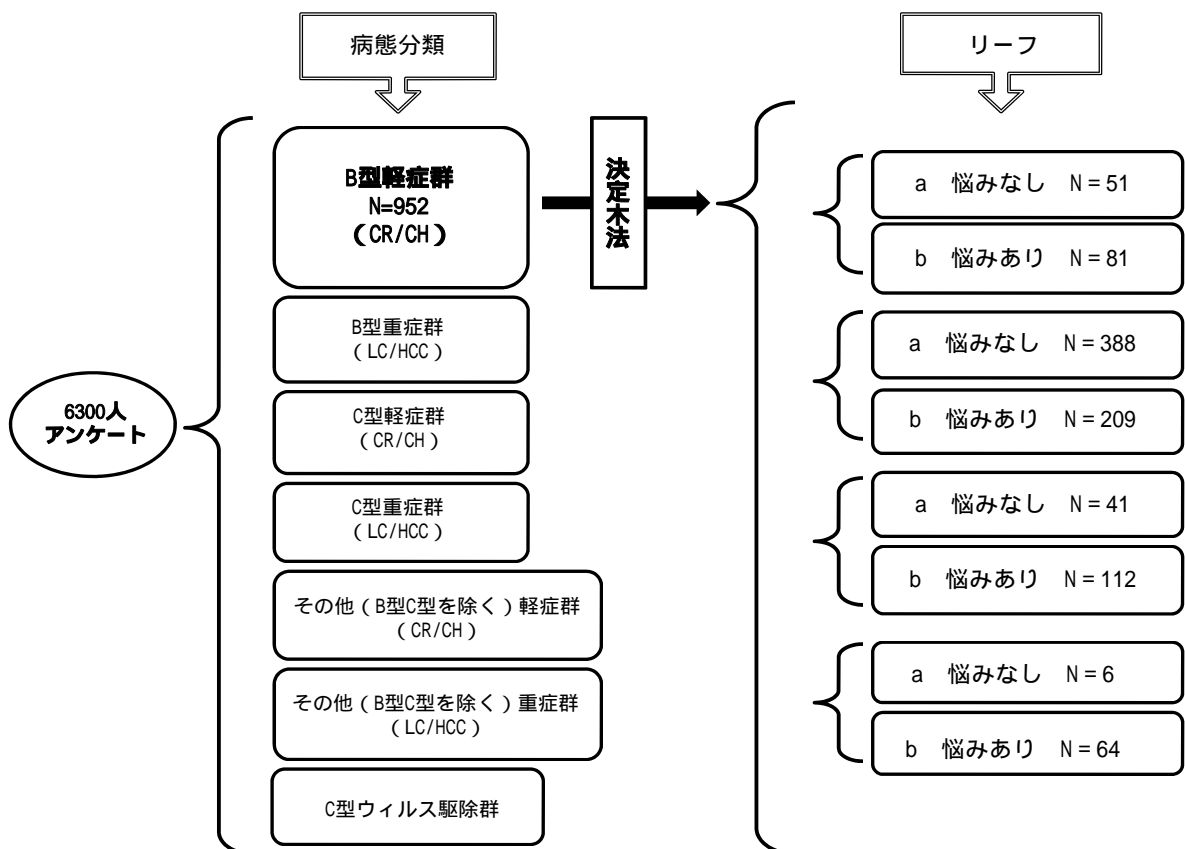
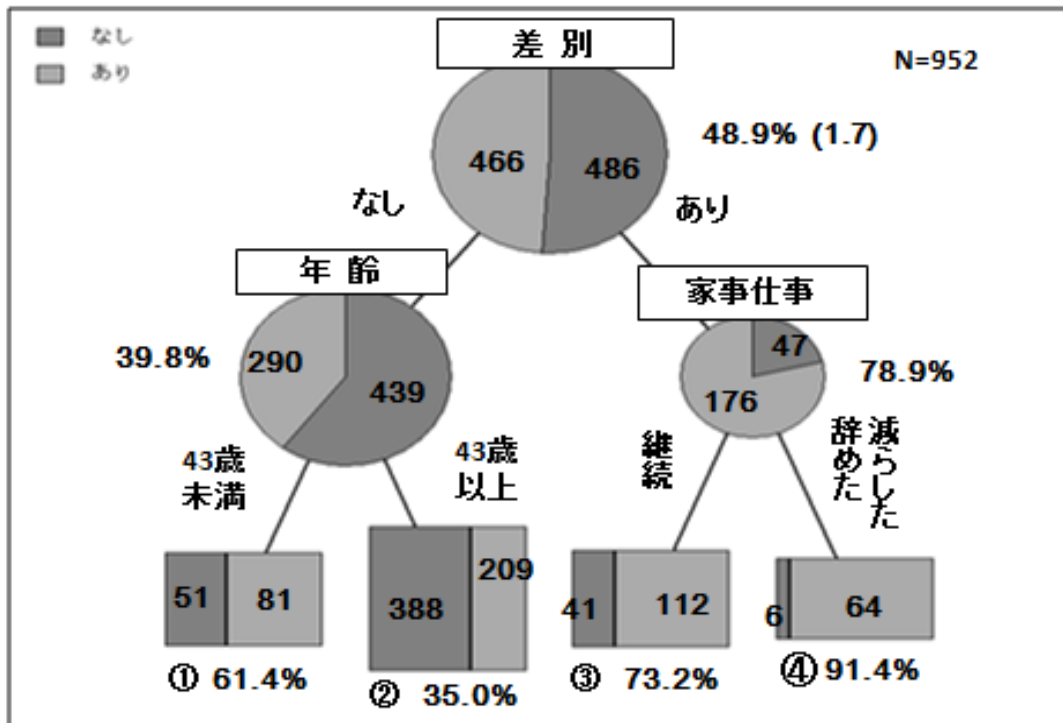
【変数 =b かつ変数 =a で「悩みなし」】と回答している場合・・・ -a

【変数 =b かつ変数 =a で「悩みあり」】と回答している場合・・・ -b

【変数 =b かつ変数 =b で「悩みなし」】と回答している場合・・・ -a

【変数 =b かつ変数 =b で「悩みあり」】と回答している場合・・・ -b

〈 B 型軽症 (CR/CH) 〉



F11 「日常生活で、肝臓病を患っていることによる悩みやストレスはありますか。」の設問に対して「ある」もしくは「ない」と選択した肝疾患患者の特徴を把握した上で、患者自由記述について参照、考察する為に、まず肝疾患患者を下記の7の病態に区分した。

F11-1 B型軽症群(CR/CH)自由記述 全34ページ

【目次】

* ()内、記述件数/患者数

1の中の「悩みなし」・・・1P	(4件/n=51)
1の中の「悩みあり」・・・2P~4P	(29件/n=81)
2の中の「悩みなし」・・・5P~10P	(68件/n=388)
2の中の「悩みあり」・・・11P~16P	(61件/n=209)
3の中の「悩みなし」・・・17P~19P	(32件/n=41)
3の中の「悩みあり」・・・20P~27P	(84件/n=112)
4の中の「悩みなし」・・・28P	(5件/n=6)
4の中の「悩みあり」・・・29P~34P	(53件/n=64)

注) 個人情報保護の観点から、個人を特定する可能性のある記述内容については、

削除、修正をおこなっている。